個人情報保護のため、生徒名は削除しています。

学校教育目標『豊かな感性をもち、自ら考え、行動するたくましい生徒の育成』

御宿中だより　2025. 9. 2

昨日から2学期がスタートしました。幸いなことに、夏休み中に大きな事件や事故もなく、さらにうれしいことに1年に１名転入があり、全校で107名となりました。

7月22日から24日に行われた50回目の海の子交流会では、長野県野沢温泉村の村長さんと中学1年生19名を迎え、岩和田漁協の皆さんのご協力による大漁旗による歓迎や乗船体験、イカの一夜干しづくり、メキシコ塔見学や地域の方に海と山の子交流会の歴史を学びました。そして、海水浴やウォーターパークで御宿の海を満喫し、夜は町観光協会による盛大な花火の打ち上げをしていただきました。御宿町長をはじめ役場の方々、各関係団体と地域の方々からのご協力とご厚意により、両校の生徒たちがこんなにもすばらしい体験をすることができ、本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

先日、NHK の「ファミリー・ヒストリー」という番組で、松岡修造氏（元プロテニスプレイヤー）の回を見ました。私が感銘を受けたのは、情熱の塊のような修造氏が、家族の愛情を受けながらも甘えるのではなく、父親から強い信念や覚悟をもって生きるよう育てられたことです。修造氏の父（功氏）も、実は学生ナンバーワンのテニスプレイヤーだったそうですが、大学卒業時に進路に悩み、父親（辰郎氏）に「働きながら実業団であと5年テニスを続け世界で戦いたい」と相談し、「それなら今すぐやめなさい。仕事とテニスは両立しない。一生テニスをやり続ける覚悟があるなら別だが。」と言われたそうです。覚悟を問われ、功氏はきっぱりとテニスをやめることにしたそうです。その決意は固く、日本一のテニスプレイヤーだったのに、自宅にはテニスの賞状やトロフィーを一切飾らなかったそうです。当然、修造氏も父親から生き方の厳しさや覚悟を教えられたようです。今の時代、まったく同じことは通用しないとしても、生き方における覚悟については、大いに学ぶべきところがあると思いました。

今後とも、本校教育活動へのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

前期期末テストが9月11日（木）、12日（金）に行われます。

前期期末テストが行われます。学校評価アンケートでは、家庭学習への取組状況に課題があることがわかります。今年度は、対応策の一つとして、夏休みにタブレットを持ち帰りをしましたが、活用はいかがでしょうか。町の予算でタブレットに導入してある「e ライブラリ」は、AI が苦手なところを出題してくれるとのことです。

自主学習を積極的に行っている成果があらわれている生徒もいます。〇〇〇〇さんが見事に漢字検定2級（高校卒業レベルといわれています）に合格し、3級に7人（1名は1年生）合格ました。また、英語検定準2級（高校中級レベルといわれています）に、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんの4名が合格しました。

【本年度 50 回目の海山交流を実施しました】

３日間とも天候に恵まれ、素晴らしい交流ができました。

１日目は、お出迎えに１年生学級部の〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんを中心に、お出迎え、海水浴、プール、イカの一夜干し体験など、多くの行事のお手伝いをしていただきました。

また、2・3 年生有志に7月から練習していただき、野沢温泉中学校の校歌を練習し、当日は歌いながらのお迎えをしました。野沢温泉村長様からは、「大変驚いた。とても温かいお出迎えはありがとうございました。」と感謝の言葉をいただきました。協力いただいた生徒会を始め、2、3 年生の皆さん、本当にありがとうございました。今回は、御宿町から50回目を記念し、2つの自治体のマスコットキャラクターを作っていただきました。また、野沢温泉村・御宿町双方にうちわ、ラバーストラップをいただきました。(2, 3年生にも配付済)

当日はゲストティーチャーとして、長年にわたり野沢温泉村と交流を重ねている髙倉さんにおいでいただき、長年続けている交流の尊さをお話しいただき、和やかな雰囲気で交流が始まりました。２ 日目の海の交流では、大勢の町職員の皆様にも、安全確認のため海に一緒に入っていただきました。PTA の〇〇会長のご尽力により、感動的な打ち上げ、花火を見ることができました。その後半ごとに手持ち花火を行い、より交流が深まりました。

2日目の交流の様子は、いくつかの新聞で扱っていただきましたが、最終日には、御宿新聞販売店の〇〇様より、１人１人に新聞が配られました。

大漁旗を設置してのお出迎え　　2・3年生のボランティア　　打上花火鑑賞の後の花火

【学習成果発表会　合唱コンクールの実施方法について】

本年度から全学年単学級になったことを踏まえ、学校全体で話し合いを重ねてまいりました。

課題

・成長段階が違い、各パート人数に偏りがある。

・今後も学年の人数に差がある。

・学年によって、ピアノのできる人数に差がある。

このような状況の中で、最優秀賞を決めることに意味があるのかという課題が出ていました。

今後、平等の条件が担保されない中で、どのように生徒の力を伸ばすの良いのか、検討重ねた結果、本年度から最優秀賞を決めず、各賞を授与することになりました。

生徒たちには、始業式にて、担当職員から説明を行いました。様々なご意見があるのは、承知しておりますが、検討を重ねた結果ですので、ご理解ください。

なお、 3年生においては、〇〇月〇日(木)に行われる郡市音楽発表会に出場します。保護者の方も入場できますので、会場で素晴らしい歌声をお聞きください。

郡市音楽発表会　伴奏者　　「群青」　　〇〇　〇〇　さん

「ひとつの朝」　〇〇　〇〇　さん

詳細につきましては、要項が決定次第、3 年生の皆様に周知します。